

第15回ミュージック・アカデミー in みやざき 2022 受講申込書

クラス(楽器名)				写真貼付 (H4cm×W3cm)
フリガナ				
ローマ字				
氏名				
生年月日	年	月	日 (歳)	
性別	男	・	女 ※性自認を含む	
国籍				
結果・資料送付先住所	〒()	TEL		
		FAX		
		携帯電話		
		e-mail		
未成年の場合は保護者の氏名	(フリガナ/) (続柄)			
師事している先生				
現在の勤務先/学校名/所属団体等				
主な学歴・演奏歴・受賞歴(プロフィール) *宮崎県在住歴がありましたらご記入ください。				
室内楽の経験について	1 経験はない 又は ほとんどない 2 経験がある a) 誰と b) 曲目 c) それは何回くらいでしょうか? レッソンのみ 回数 / コンサートをした 回数			
受講希望曲	1	邦題	作曲者名	
		原題	伴奏	あり・なし
	2	邦題	作曲者名	
		原題	伴奏	あり・なし
	3	邦題	作曲者名	
		原題	伴奏	あり・なし
	4	邦題	作曲者名	
		原題	伴奏	あり・なし
受講の動機				
本アカデミーの受講歴	これまでに受講した回数()回(第)回時) ・ 初参加)			
提出した審査用録音	1	作曲者名		
	2	作品名		
	3	収録年月日		
	4	収録場所		

※迷惑メール対策などでドメイン受信指定をされている方は「@miyazaki-ac.jp」からのメールが受信できるよう設定してください。

※応募締切は2022年1月7日(金)(必着・受信有効)です。

第15回 ミュージック・アカデミー inみやざき2022 15th Music Academy in Miyazaki 2022

マスタークラス受講生募集



国内外の第一線で活躍する演奏家を講師陣に迎え、個人レッスンと講師・受講生による演奏会からなるアジア最高水準の育成プログラムを開催します。



日程 2022

3.19~27 sat sun

会場 メディキット県民文化センター(宮崎県立芸術劇場)

応募締切 2022年1月7日(金) 必着・受信有効

音楽監督 徳永 二男

講師 【ヴァイオリン】 徳永二男、ジェラルド・ブーレ(特別講師)、漆原朝子、景山誠治、野口千代光、藤原浜雄、三浦文彰

【ヴァイオリン/ヴィオラ】 川崎雅夫

【チェロ】 毛利伯郎

【ピアノ】 三上桂子、横山幸雄

※都合により講師が変更になる場合がございます。あらかじめ御了承ください。

主催: 宮崎県・公益財団法人宮崎県立芸術劇場

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会



レッスン概要

開催日程

2022年3月19日(土)~27日(日)

会場

メディキット県民文化センター(宮崎県立芸術劇場)

募集定員

●ヴァイオリン/ヴィオラ:40名 ●チェロ:6名 ●ピアノ:12名

スケジュール	レッスン日のスケジュール
3/19(土) オリエンテーション、レッスン	(9:00-10:00 レッスン)
20(日) レッスン	10:00-11:00 レッスン
21(月・祝) レッスン	11:00-12:00 レッスン
22(火) レッスン	12:00-13:30 休憩
23(水) レッスン	13:30-14:30 レッスン
24(木) レッスン	14:30-15:30 レッスン
25(金) レッスン	15:45-16:45 レッスン
26(土) 受講生コンサート	16:45-17:45 レッスン
27(日) 講師によるファイナルコンサート	(18:00-19:00 レッスン)

※期間中、クラスによっては休講日が入る場合があります。

※スケジュールはクラスによって変更になる場合がございます。

■レッスンについて

- 講師による個人レッスン:原則として1日1回(1時間)、計5回
 - ヴァイオリンとピアノは複数の講師による個人レッスンとなります。講師の割り振りは音楽監督が行いますが、全ての講師によるレッスンの受講を保証するものではありません。
 - 伴奏者は事務局で手配します。
 - 期間中のレッスンは、原則として一般公開いたします。なお、受講生はすべてのレッスンを聴講することができます。講師の割り振りは音楽監督が行いますが、全ての講師によるレッスンの受講を保証するものではありません。
 - 伴奏者は事務局で手配します。
 - 期間中のレッスンは、原則として一般公開いたします。なお、受講生はすべてのレッスンを聴講することができます。
- ※新型コロナウイルス感染症等の状況により、レッスンの一般公開は、行わない場合もございます。
- また、受講期間直前に自己負担にてPCR検査を受けていただく可能性がございます。ご了承ください。
- ※優秀な受講生には、2022年5月に開催予定の第27回宮崎国際音楽祭に出演していただく可能性がございます。

- 応募締切** 2022年1月7日(金) 必着・受信有効
- 結果通知** 2022年2月中旬頃に郵送にて通知いたします。
- 受講料** 112,000円(消費税等別途、交通費・宿泊費・食事代別)
- 宿泊** 受講決定の後、宮崎市内のホテルをご案内しますので、各自でご手配ください。
- 交通** メディキット県民文化センター(宮崎県立芸術劇場)まで
 - 宮崎空港から
タクシーで約30分、バスで40分(宮崎市街方面行き「橋通3丁目」乗り換え)
 - JR宮崎駅から
タクシーで約10分
 - 宮崎市街地から
バスで約15分/タクシーで約10分

お申込み・お問合せ

「第15回 ミュージック・アカデミー inみやざき2022」係

〒880-8557 宮崎市船塚3丁目210番地
公益財団法人 宮崎県立芸術劇場
企画広報課
TEL:0985-28-3208 FAX:0985-20-6670
Mail: a-kengeki@miyazaki-ac.jp

宮崎アカデミークラス(ヴァイオリン・ピアノ・管楽器予定)

宮崎県在住の方を対象に、1レッスンから受けられるクラスを実施します(最大2レッスンまで)。詳細については、決定次第、宮崎県立芸術劇場HPにてお知らせします。

受講資格

- 30歳未満で一般公募
- 演奏家を志す方、または更なる技術の向上を目指す方
- 国籍不問
- 開催期間の全日程に参加できる方(ただし、やむを得ない理由により全日程の参加ができない方はお問合せください。)

応募方法

下記の資料を「第15回ミュージック・アカデミーinみやざき2022」係宛てにお送りください。

①受講申込書

右のQRコード(もしくは宮崎県立芸術劇場ホームページ)から受講申込フォームにアクセスし、お申込みください。※アクセスできない場合に限り、本パンフレット裏面の申込用紙にて記入のうえ郵送でお申込みください。



②顔写真

たて・よこ各4cm以内の顔写真1枚を、裏に氏名記入のうえ、郵送でお送りください。

③音源

2021年1月以降に録音した10分程度の演奏録音(CDに限る。)を提出してください。曲目自由。CDには必ず氏名・楽器名・曲名を記入してください。CD以外の音源は受け付けられません。

※提出された資料、音源は返却いたしません。

講師紹介

徳永 二男(音楽監督)
Tsugio Tokunaga
(Violin)



人気、実力ともに日本を代表する音楽家。1966年、当時日本楽壇史上最年少のコンサートマスターとして東響に入団。1976年N響のコンサートマスターに就任し、長くソロ・コンサートマスターを務めた。1994年にN響を退団し、ソロ、室内楽に専念。

1992年より鎌倉芸術館ソリストを主宰し、1996年からは宮崎国際音楽祭の総合プロデューサーを経て2011年からは音楽監督を務める。ソリストとしても、モントリオール交響楽団やイギリス室内管弦楽団、ウィーン室内管弦楽団など、国内外の主要オーケストラからたびたび招かれている。2016年には文化庁長官表彰も受ける。最新盤は「徳永二男プレイス R.シュトラウス ヴァイオリンソナタ」。桐朋学園大学特任教授。

漆原 朝子
Asako Urushihara
(Violin)

東京藝大附属高等学校在学中に日本国際音楽コンクールで最年少優勝。ジュリアード音楽院卒業。88年N響定期公演デビュー、ニューヨークでのリサイタル、デビューでも絶賛を博す。マルボロ音楽祭や、ザルツブルク音楽祭などにも登場し、内外のオーケストラとの共演も数多い。2003年以後シューマンとブラームスのヴァイオリンソナタ全曲ライヴCD、オール・シューベルトやサン・サーンス&ルークのソナタのCD等をリリース。現在、東京藝術大学教授、大阪音楽大学特任教授。

藤原 浜雄
Hamao Fujiwara
(Violin)

桐朋学園大学で鷲見三郎、江藤俊哉、海野義雄、ジュリアード音楽院でジョーゼフ・フックス各氏に師事。第36回日本音コン1位。1968年バガニーニ・コンクール2位、71年エリザベト・コンクール3位銀賞。その後アメリカで活躍。72年ロチェスター・フィル定期演奏会で米国協奏曲デビュー。ジュリアード、マンハッタン両音楽院で教鞭を執り、ミシガン大学音楽学部准教授。92年より2012年3月まで読売日本交響楽団ソロ・コンサートマスター。桐朋学園大学院大学特任教授。東京音楽大学客員教授。

毛利 伯郎
Hakuro Mori
(Cello)

10歳よりチェロを始め桐朋学園、ジュリアード音楽院で学ぶ。在学中より、ニューヨークを中心としてアメリカ、ヨーロッパの各地で室内楽、ソロなど多彩な活動を展開。1985年、帰国。2015年まで読売日本交響楽団ソロチェリストを務める他、東京ピアノ・トリオ、桐五重奏団、水戸カルテット、その他多くのシリーズのメンバー、ゲストとして出演、好評を博している。桐朋学園教授、東京音楽大学客員教授。

ジェラルド・プーレ(特別講師)
Gérard Poulet
(Violin)



フランスの至宝83歳で現役の巨匠。18歳でバガニーニコンクール優勝。パリ国立高等音楽院の名譽教授。2003年に退官後、パリ市立音楽院とエコール・ノルマル音楽院で教鞭を執り、2005年~2019年、東京藝術大学の客員・招聘教授を務める。2010年から

現在は昭和音楽大学の教授。日本のヴァイオリン界のレヴェル・アップに貢献している。多数のマスタークラス、国際コンクールの審査員(長)に招聘されている。これまでに70枚以上のCD等をリリースした。1995年にフランス芸術文化勲章及び1999年に文化功労賞を受賞。2019年5月にフランス文化省から、フランス芸術文化勲章の最高位コマンドール(Commandeur de l'ordre des Arts et des Lettres)を叙勲。www.gerard-poulet.com

景山 誠治
Seiji Kageyama
(Violin)

東京藝術大学首席卒業。全日本学生音楽コンクール小学校の部、中学校の部全国第1位。高校在学中に日本音楽コンクール入賞。ヴァエニヤフスキ国際コンクール入賞。84年ロン・ティボ国際コンクール最高位。89年ドイツ8都市でソリストとしてオーケストラと共演。92年ベルリン・コーミッシェル・オーケストラと共演。ミュンヘン、ライプツィヒにてリサイタル。95年ベネズエラ国立シモンボリバルオーケストラと共演。11年釜山フィルハーモニーオーケストラと共演。現在、桐朋学園大学教授。

三浦 文彰
Fumiaki Miura
(Violin)

世界最難関とも言われるハーヴァード国際コンクールにおいて史上最年少の16歳で優勝。これまでロサンゼルス・フィル、ロイヤル・フィル、マリンスキー劇場管、チャイコフスキーシンフォニーオーケストラ、ベルリン・ドイツ・オペラ、NDRエルブ・フィル、エーテル・オペラなどと共演。共演した指揮者には、ドゥッメル、クルグエフ、フェドセーエフ、ズカーマンなど。18年からサントリーホールARKクラシックスのアーティスト・リリーダー。21/22シーズンからロンドンの名門ロイヤル・フィルのアーティスト・イン・レジデンスに就任。

三上 桂子
Katsurako Mikami
(Piano)

日本音楽コンクール第1位。桐朋学園大学入学後、海外派遣コンクールで安宅賞受賞。パリのロン・ティボ国際コンクールに参加し特別賞受賞。フランス政府給費留学生として、パリ音楽院に留学。その後、ジュリアード音楽院で研鑽を積む。メイン州立大学、ニューヨーク州アルフレッド大学などで夏季講座の講師を長年務めた。今までニューヨーク州、フラハ、ライプツィヒ、ニースの講習会に講師、アーティストとして招かれている。現在は桐朋学園名誉教授として後進の指導にもあたっている。

野口 千代光
Chiyoko Noguchi
(Violin)

東京藝術大学在学中にジュリアード音楽院へ留学。ジュリアード・コンチェルトコンペティション優勝。アーティスト・インターナショナルオーディション優勝、ヤングアーティスト・デビュー賞を受賞。カーネギー・ウィルホールにおいてニューヨークリサイタルデビュー。ジュリアード音楽院卒業後、東京藝術大学に復学し首席で卒業。ヴァエニヤフスキ国際ヴァイオリンコンクール特別賞受賞。ソリストとして国内外のオーケストラと共演。東京藝術大学音楽学部教授、日本大学芸術学部客員教授、桐朋学園芸術短期大学講師。

川崎 雅夫
Masao Kawasaki
(Violin/Viola)

アメリカと日本を拠点に国際的に活躍する演奏家。桐朋学園大学を経てジュリアード音楽院に留学。1973年よりアメリカに在住してソリストとして数多くのオーケストラと共演。ジュリアード、エマーソン、水戸カルテットなどの客演ヴァイオリストとしても演奏活動を行っている。87年よりジュリアード音楽院の教授に就任。現在3つの大学で教鞭をとるかたわら、国際コンクールの審査員やアメリカ国内外の多くの大学、講習会に招かれ、演奏や公開レッスンを通じて若手への指導にも力を注いでいる。

横山 幸雄
Yukio Yokoyama
(Piano)

1990年ショパン国際コンクールに入賞、文化庁芸術選奨文部大臣新人賞等を受賞。2010年ポーランド政府より、ショパンの作品に対して特に顕著な芸術活動を行った世界で100名の芸術家に贈られる「ショパン・パスポート」が授与される。2011年には212曲のショパンのピアノ独奏曲を1日で演奏し、ギネス世界記録を認定。2019年5月、ショパンが生誕して作られた240曲の作品をすべて演奏するという前人未踏のプロジェクトを開催。エリザベト音楽大学客員教授、名古屋芸術大学特別客員教授、日本パレオ音楽協会会長。